

「金銭教育公開授業 in 茨城（筑西市）（新治小学校）」（10月25日開催）

筑西市立新治小学校は、令和4年10月現在、全校児童381名、学級数は特別支援4学級を含め16学級の中規模校です。「自ら学び、心豊かでたくましく生きる 新治っ子の育成」という学校目標のもと、「自ら学ぶ子」「強い子」「明るい子」の育成を目指しています。

10月25日（火）に金銭教育公開授業を開催し、1、4、5年、特別支援学級の公開と、バックンマックン氏による講演会を行いました。

▼参加者内訳：

児童381名、教員25名、金融広報委員会4名、教育委員会4名、教育事務所2名、他校教員21名、合計437名

1. 公開授業

（1）「大切に使う～おれたクレヨン～」（第1学年 特別の教科道徳）

特別の教科道徳の内容「節度、節制」と本校の金銭教育の視点①「ものやお金を大切にする子」を関連させ、場面絵を使い、「ものを大切に使う」とはどういうことなのか考えました。「大切につかわれているクレヨン」と「おれてバラバラになったクレヨン」の2つの場面絵を比較し、クレヨンの役割演技をしながら話し合うことで、身の回りの学用品の使い方に目を向けることができました。丁寧に使えば長く使えることや、自分の持ち物はお金がかかっていることを知り、お金や物を大切に使うとする意欲を高めることができました。



(2)「ネットゲームの落とし穴」(第4学年 学級活動)

学級活動と本校の金銭教育の視点③「自立した消費者として行動できる子」を関連させ、ネットゲームにはどのような注意点があるのか考えました。事前にネットゲームの課金に関する映像を視聴し、ネットゲームについてのアンケートを行いました。本時では、このアンケート結果を基に、自分たちのゲームで遊ぶときの問題点に話し合いました。終末には、一人一人が、ゲームをする時の「自分ルール」を考え、共有することができました。



（３）「生活を支えるお金と物～買い物の仕方を工夫しよう～」(第5学年 家庭科)

家庭科と本校の金銭教育の視点③「自立した消費者として行動できる子」を関連させ、インターネットショッピングでの物の選び方、買い方について考えました。「インターネットショッピングで2000円で買える筆入れを買う。」という場面と条件を踏まえ、児童は品物の情報から自分の買いたい筆入れを選びました。その後、インターネットで自分が選んだものと実物を比較して、インターネットショッピングで気を付けること・失敗したこと・成功したことの3つの視点でワークシートに記入しました。この活動から、児童は買い物をするときに、必要な情報を集めることの重要性に気付くことができました。



(4)「お金について考えよう」(特別支援 自立活動)

自立活動と本校の金銭教育の視点②「お金の働きや役割を理解できる子」を関連させ、すごろくゲームを行いながら、様々な買い物場面のロールプレイを行いました。「遠足で500円のクーポンがもらえたがおつりはもらえない。」「コンビニエンスストアで袋がいるか聞かれた。」「クレーンゲームで何回挑戦するか。」など、様々な場面で、自分だったらどうするのか考えたり、友達の考えを聞いたりすることができました。お金には、いろいろな使い方があり、よく考えて上手に使うことが大切だと気付くことができました。

2 研究発表

茨城県金融広報委員会より金銭教育研究校の委嘱を受け、研究主題「自ら考え、主体的に行動できる児童の育成～ものやお金の価値を知り、実生活に生かす活動の工夫を通して～」とし、金銭教育の研究に取り組んできました。金融教育の目標から、本校で目指す金銭教育の視点を4つ設定し、それに向けた授業実践を行ってきたことを発表しました。また、4つの研究部(授業研究部・環境研究部・実践活動研究部・保護者啓発研究部)を設置し、それぞれの研究部で工夫して取り組んできたことを紹介しました。

3 プログラム

13:15～14:00

公開授業

- (1)「ものを大切に」(1年生 特別の教科道徳)
- (2)「ネットゲームの落とし穴」(4年生 学級活動)
- (3)「生活をささえるお金と物」(5年生 家庭科)
- (4)「お金について考えよう」(特別支援 自立活動)

14:10～15:00

講演会

講師 パックンマックン氏

演題 「笑劇的国際交流～日米の家庭でのお金模様～」

15:10～16:00

全体会

共催者挨拶

茨城県金融広報委員会 副会長 上野 淳

研究発表・協議

筑西市立新治小学校 研究主任 中里 千夏

指導講評

茨城県金融広報アドバイザー 平澤 浩子

筑西市教育委員会指導課 指導主事 野村 菜穂子

謝辞

筑西市新治小学校 校長 宮田 克己